

新桂沢ダム堤体建設工事 コンクリート初打設

平成29年7月3日(月)、新桂沢ダムの堤体コンクリートの初打設が行われました。

新桂沢ダムでは、平成27年度から基礎掘削工事を進め、7月3日に初打設を行い、約2年間に渡ってコンクリート打設を行う予定です。堤体コンクリート打設は、750tクローラークレーンをはじめ多くの重機、そして多くの人が携わります。そのため、安全管理には細心の注意をはらい、新桂沢ダムが完成するよう努めて行きたいと思えます。



コンクリートができるまで ～ 1



コンクリートができるまで ~ 2

5 運搬されてきたコンクリートをベッセルハイダンプからコンクリートバケットに積み替えた後、クローラレーンで打設します。

ベルトコンベヤ

骨材貯蔵設備

バッチャープラント (コンクリート製造設備)

コンクリートバケット

20~40mm 5~20mm
40~80mm 80~150mm
砂

4 バッチャープラントでコンクリートの原材料となる、セメント、水、粗骨材、細骨材を練り混ぜ、6m³積ベッセルハイダンプでダム堤体付近まで運搬します。

6m³積ベッセルハイダンプ →

3 ベルトコンベヤで運搬されてきた骨材は篩分けし、4種類の粗骨材(石)と細骨材(砂)を大きさ毎に骨材貯蔵ビンに貯蔵しておきます。

ふるい